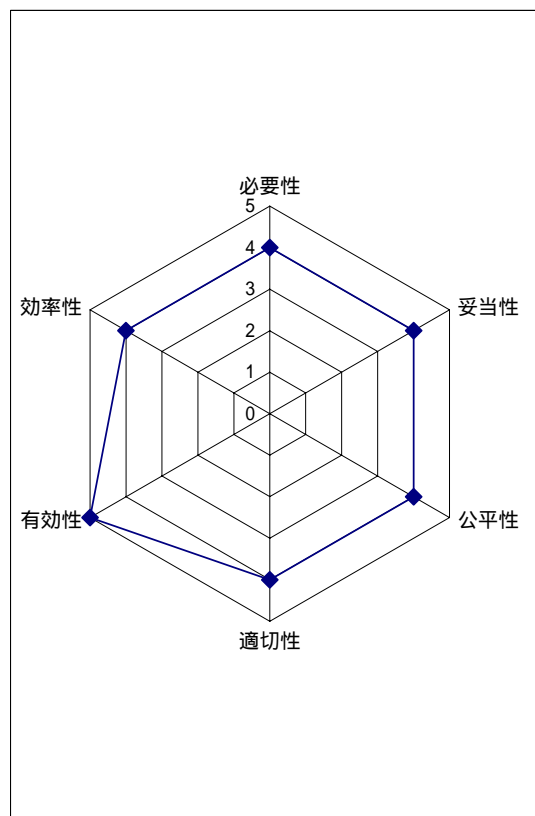


事務事業名	県単土地改良補助事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	耕地課
施策体系	美しい田園を育む交流型農業の振興	担当係名	土地改良係
施策	農産物の安定した供給体制を充実する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	土地改良区が農業の生産性の向上や経営の安定化を図るために、農業用排水施設等の整備を実施する土地改良事業に対し、地元公共団体の立場から事業の促進を図るため経費の一部を補助する。		
事業の期間(開始/終了)	99年 99月 / 99年 99月		
根拠法令、条例、規則など	土地改良法 平成17年度結城市土地改良事業補助金 交付要項		
事業が対象としている人(モノ)	受益地		
具体的な活動内容	補助金交付申請の内容と目的を精査し、交付決定を行った。		
	事業が申請どおり遂行しているか状況を確認した。		
	事業が申請どおり施行されたことを、履行検査により確認した。		
事業の成果	排水路を整備したことにより、排水能力が向上し乾田化が図られた。		
	排水路を整備したことにより、維持管理の軽減が図られた。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 排水路を整備することにより、田の乾田化を図り耕作放棄を防ぐとともに、環境保全や雨水排水などの多面的機能を維持するために必要である。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 地域環境の保全や雨水排水等の役割を担っている事業であり行政の関与が必要である。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 直接的な受益面積は9haであり、受益者には広く便益を提供している。また環境保全や雨水排水区域を考えると、さらに広域的に便益を提供している。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 事業区域の状況を熟知している土地改良区が事業主体となり、県並びに市の補助を受けながら実施する現在の手段が最も適している。
有効性	5 目標以上の達成度である 工事費の縮減により予定以上の整備延長を施工することができ、目的及び成果は達成された。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている) 単位延長当たりの事業費は対前年比26%の縮減を図れた。人員効率は規則で定められた手続を行っているので変化なし。

総合評価	本事業は受益者自らが事業主体となり、計画から実施まで一貫して施行するため、受益者の意見が直接反映され事業効果の高い有意義な事業である。しかし、事業の執行手続の方法や工事管理に不十分な点がある。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)
	説明	農業用水の安定供給、排水条件の改善など水利用の安定と合理化を図る事業であり、継続して取組んでゆく必要を認める。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	米の価格低迷が続く中、農業経営の安定化等を図る上で受益者の負担の一部補助はより必要性が高い。			